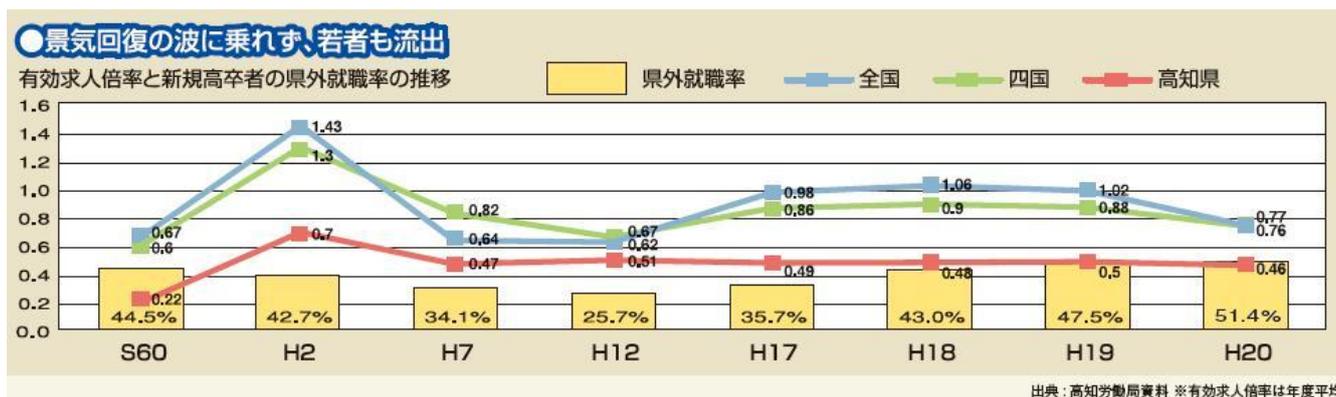


【高知の現状について】

まず、私のほうから、高知県の経済が今どういう状況で、どういう課題を抱えているのかをお話をさせていただきたいと思います。

高知県の経済は本当に大変なんです。どれだけ深刻か、そして、どうすればこの状況を脱出することができるかについてお話をしたいと思います。

まず、産業振興計画についてのパンフレットをご覧ください。これは、平成21年度から実施をしている高知県産業振興計画についてのPR版のパンフレットです。



1 ページを開いてもらって、その下の折れ線グラフを見てください。これは、有効求人倍率についてのグラフです。有効求人倍率とは、1 人に対してどれだけ仕事、就職先があるかということを表すものです。有効求人倍率が1 を超えると、1 人に対して1 つ以上仕事があるということですから、非常に景気がいいということになります。

グラフのこの赤い線が高知県です。そして、青い線が全国です。平成12年の

ころ、高知県も全国も大体同じぐらいのところがありました。それが、その後、平成19年ぐらいまでを見ていくと、全国では有効求人倍率1 を超えるぐらいまで改善をしていきます。高知県は、この間、ずっと0.5 ぐらいで低迷したままです。全国は、平成12年から平成19年にかけて戦後の中でも最も長いといわれる好景気が続いていました。しかし、残念ながら、高知県は変わらないままです。

この約10年前が高知県経済にとってのターニングポイント、分かれ目だったのではないかと私は思っています。それまでは、全国の景気がいいときは高知県もよく、全国が悪いときは高知県も一緒に悪くなり、それを繰り返していました。ところが、平成12年以降は、全国がよくなっても、高知県だけはついていけなくなりました。

なぜこういうふうになってしまったのか。簡単にこういう状況に陥るわけではありません。根本的な構造的な原因が背後にあります。逆に言うと、その根本的な原因に働きかけ、解決するような対策を打たなければ、決して高知県の経済はよくなりません。

今日、皆さんに一番言いたいことは、高知県の経済にしても何にしても、今の現状はどういうことなのか、率直に事態を見極めることが重要だと思います。小手先の対策を取るのではダメだ、根本的な問題があるんだ、それに対して対応するためにはどうするのか。基本的には、まず率直に事態を見据えていくということ、そのことが第1 なんだと思って

います。

高知県の経済は、率直に言って、景気がいいとか悪いとかいうことを超えた状況にあります。全然浮き上がることができないのです。

どうして高知県だけ浮かび上がることができないのでしょうか？ この緑の線を見てください。これは四国の状況ですが、徳島も香川も愛媛も上向いているんです。高知県だけが上れていない。なぜだと思いませんか？

生徒： やる気が無いからだと思います。

知事： やる気がない。ほかにはどういうものがありますか？

生徒： 流出している若者が多いからだと思います。

知事： やる気がないということも、流出している若者が多いということもあるかもしれませんが。しかし、その背後にもっと原因があります。要するに、人口が減っているからです。ものすごい勢いで人口が減っています。平成2年ごろから、高知県は人口が減り始めました。全国で人口が減り始めたのは平成17年ごろからですが、その15年前から人口が減り始めたのが高知県です。ピークは84万人を超えるぐらい人口が高知県内にいましたが、今では高知県内の人口は77万人を切っています。

なぜ人口が減り始めたかという、それ以前から若い人が流出し始めていたからです。加えて、生まれてくる赤ちゃんよりも亡くなる人の数のほうが多くなっていく「自然減」が起こるようになってきました。若い人がいなくなると、子どもが少ししか生まれず、亡くなる人の数が多くなります。84万人いた人口が77万人になり、そしてもう1つ、高齢化がどんどん進むようになりました。

人口の減少が、経済にどのようなマイナスの影響を与えるか分かりますか。1人ひとりのご飯を食べる量が変わらず、ただ人口だけが減ると、物の売れ行きは落ちていきます。なぜなら、物を買う人の数が減るからです。それに加えて高齢化が進んでくると、一番お金を使う世代、たとえば子育てをしている皆さんのご両親、保護者の皆さん方の世代。その世代の人口がガンと減ってしまいます。

高知県で売り上げている物の数、平成9年には2兆円でした。今は1兆6千億円しかありません。県内での売り上げが2割も小さくなっています。人口が減っているから、県内の売上げがだんだん落ちていっているんです。

商売がずっとうまくいかず、売上げが前の年より伸びなければやる気もなくなります。職場もなくなるから、若い人も県外へ出て行きますよね。そういう状況があり、だんだん経済規模が縮んできているのだと思います。

では、それに対してどうしていくのかということですが、高知県だけがこんなにひどい状況にあるわけではないんですよ。これから日本全国が同じような状況に陥ってきます。実際、高知県も、平成2年に人口が減り始めてから約10年はそれほど大きなマイナスの影響はありませんでした。10年たって急激に落ち込みが始まってきたのです。そして、全国は平成17年から人口が減り始めています。平成27年ぐらい、

10年後には同じように影響が出てくるのかもしれませんが。少なくとも高知県に似たような県、人口が減り始めている県は、徐々に同じような状況になりつつあります。

そういう厳しい状況に、全国の中でも真っ先に突入したのが高知県です。逆に言えば、一番長くこの人口減少と高齢化の苦しみを知っているのが高知県だということです。

真っ先にこれに対する対応策を示すことができれば、後続の県に、高知は問題を克服してうらやましいと、思ってもらえるかもしれない。できれば、高知県をそういう県にしたいと思い、日々頑張っているところです。